

2026年2月3日

会員企業各位

株式会社PR TIMES
執行役員 兼 第一営業部長
小暮 桃子

<最終報>画像ファイル削除機能の不具合に関するお詫びとご報告

平素よりPR TIMESをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、2026年1月26日(月)17時00分頃～1月30日(金)18時06分頃の間に、「PR TIMES」のプレスリリース入稿エディターにおいて、画像削除操作が正常に反映されない不具合が発生いたしました。この影響により、本文上では画像ファイルが削除されているものの、一部のページ(後述します)において、削除したはずの画像ファイルが閲覧・保存できる状態で配信されていたことが判明いたしました。1681件1374社のプレスリリースにて画像ファイルが正常に削除されなかったことを確認しており、そのうち824件731社のプレスリリースは復旧時点で配信済みの状態でした。

現時点で、不具合の発生原因箇所の修正は完了しており、画像ファイルが削除されていないプレスリリースの配信元企業様へ個別にご連絡を進めております。

本障害は現在復旧しておりますが、障害発生期間中にプレスリリース入稿エディター上で画像削除の操作をしていた場合、プレスリリースを配信する際に、削除したはずの画像ファイルが閲覧・保存できる状態である可能性がございます。

「プレスリリース素材ダウンロード」機能に残ってしまっている画像は、配信設定の〈①追加情報設定〉より、削除いただけます。プレスリリース入稿エディター上で画像削除の操作をされた場合は、ご確認いただきますようお願い申し上げます。画像削除の方法は[2 対応]に後述します。また、障害発生期間中に開いたプレスリリース入稿エディターは、入稿操作の前にページをリロードいただくことで、画像削除機能が正常に動作するようになります。

お客様の大切な情報をお預かりする立場でありながら、このような事態を招き、多大なるご迷惑とご心配をおかけしてしまい大変申し訳ございません。

本件の概要および原因、再発防止策について、下記の通りご報告申し上げます。

記

1 概要

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」において、プレスリリース入稿エディター上で画像削除操作を行った際、システム内部でデータが正常に削除されず、データベース上に残存したまま配信が行われる事象が発生いたしました。

発生期間:2026年1月26日(月)17時00分頃 ～1月30日(金)18時06分

事象の詳細: プレスリリース本文上では画像ファイルが削除されていても、一部ページで閲覧および保存が可能な状態となる不具合が発生いたしました。具体的には、PR TIMESサイト上のプレスリリース掲載ページから確認可能な「すべての画像」で閲覧可能な状態、プレスリリース素材ダウンロード機能

から保存可能な状態となっておりました。また、メイン画像が削除不具合の対象となる場合には、PR TIMESおよびSNS投稿時のサムネイルや一部の転載先パートナーメディアでも、閲覧できる状態となっておりました。なお、本件によるプレスリリースの配信機能、およびその他の機能への影響はございません。

現在の状況：不具合は解消いたしました。障害発生期間中にプレスリリース入稿エディター上で画像削除の操作をしていた場合、プレスリリースを配信する際に、削除したはずの画像ファイルが閲覧・保存できる状態である可能性がございます。

2 対応

不具合の発生原因となったプログラムの修正を実施し、復旧が完了しております。

障害発生期間中に、PR TIMESのプレスリリース入稿エディター上で画像削除の操作をおこなった配信済み・予約設定中・下書き保存中のプレスリリースが本不具合の対象となっています。本来削除されるべき画像が残存している可能性のある企業様へは、順次個別に連絡を差し上げております。また、本不具合の対象となっている企業様の管理画面上には、障害の対象となっている可能性がある旨を本お知らせとは別に案内文の掲出を予定しております。

【画像削除の方法】

プレスリリース入稿エディター画面より、画面右上の「次へ」から進める〈①追加情報設定〉にて「プレスリリース素材」を編集できる画面に移行します。「プレスリリースに登録されているファイル」から、不要な画像を削除いただきますようお願いいたします。

具体的な操作は以下をご参照いただけますと幸いです。



3 経緯

≫2026年1月26日(月)

17:04 プレスリリース入稿エディターに関連するシステムを一部改修する機能リリースを実施

≫2026年1月29日(木)

12:03 お客様からの問い合わせをきっかけに、本障害を確認、調査を開始

12:39 障害の起因となった機能リリースを特定、影響範囲の調査を開始

13:47 原因と思われるコードを修正

21:11 画像削除機能において継続して不具合が発生していることを確認、追加の調査を開始

≫2026年1月30日(金)

12:47 追加調査の結果、より広範な影響範囲であったことが判明、影響範囲の特定と復旧に向けた対応を進行

16:17 特定できた影響範囲をもとに第一報を掲出、対象企業への連絡を進行

18:06 障害の発生原因となった機能リリースの引き戻し対応を完了し、復旧を確認

≫2026年2月2日(月)

対象企業への連絡を進行

≫2026年2月3日(火)

再発防止策を策定

4 原因

2026年1月26日(月)に、プレスリリース入稿エディターの状態管理ライブラリを一部移行する機能リリースを実施いたしました。当リリースは機能改修に当たらず、内部的なシステム基盤の更新であり、お客様のご利用環境や既存機能には影響を及ぼさない想定で進めておりました。しかしながら、一部のコードにおいて、削除操作を行った画像データの処理に意図しない挙動が発生し、画像データのデータベースへの残存を招く結果となりました。また、リリースの事前検証において、画像削除機能への波及影響を十分に想定・網羅したテストが実施できておらず、不具合の発見に至りませんでした。

5 再発防止策

- リスク管理の定量化

実装予定の機能リリースの影響範囲やリスクを適切に把握するため、過去の不具合や機能実装の履歴をもとに、リスクを定量化して観測できる取り組みを進めています。今後、定量的に計測したリスクの度合いに応じたテストやチェック範囲を設けます。

- レビュー体制の改善

上記のリスク判定の元、リリース内容に応じてレビューアーを職能により限定します。想定される影響範囲が大きい場合に、特に入念な事前検証を経てリリースできる体制を構築します。

- 自動テストの拡充

プレスリリース入稿エディターに関するリリース時における自動テストのテストケースを拡充します。

- 静的解析の強化・改善

ソースコードに対する静的解析を強化し、問題のあるコードを事前に発見、対応できるようにします。

お客様の大切な情報をお預かりする立場でありながら、このような事態を招き、多大なるご迷惑とご心配をおかけしてしまい大変申し訳ございません。

上記の再発防止策を徹底し、信用回復に努めてまいります。

今後ともPR TIMESをご愛顧いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

PR TIMES:<https://prtimes.jp/>

以上